

## 機関名: (地独)北海道立総合研究機構水産研究本部

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし

## 機関名: (地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	●1月～3月のホッケ漁獲量が、前年比34倍の148トンに増加し、2010年以來の100トンを超えとなった。	特になし	特になし	●1月30日から2月上旬にかけて、むつ市田名部から野辺地町にかけての陸奥湾沿岸にマイワシが大量に打ち上げられ、生きたものもみられた。 ●沖のホタテガイ養殖施設周辺でも、衰弱した多量のマイワシが確認された。 ●これらのマイワシの大きさは15～25センチ程度であった。

## 機関名: 秋田県水産振興センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	●1月～3月のホッケ漁獲量は42トン(直近5カ年平均の3.6倍)と好漁で、同時期の漁獲量が40トンを超えるのは平成24年以來。漁獲量の9割以上が定置網で漁獲された。	特になし	特になし	特になし

## 機関名: 山形県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	●マダラの産卵期の延長 ●底びき網漁業によるホッケの漁獲量が2月下旬より増加、過去10年比で2月では501%(5.8t)、3月では1,092%(4.0t)	●1月～2月の水温の躍層の形成が例年の水深150～200mよりも深い200～300mにみられた。	特になし	特になし

## 機関名: 新潟県水産海洋研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	●2018年3月以降、県内各地でホッケが漁獲されている。 ●佐渡両津市場の水揚情報で、3月8日に65箱(1箱は約10kg入り)の水揚があり、以降最新では5月12日の29箱まで続いている。これまでの合計は2617箱(約26トン) ●上記水揚は、ほとんどが両津湾の大型定置によるもので、ピークは3月下旬～4月上旬、漁獲物の体長(BL)は23cm前後(1歳魚と考えられる)であった。 ●新潟県内では、近年、ホッケは極端に減少しており、2017年の漁獲量は県全体でも17トン。 ●ホッケの資源が豊富だった頃には両津湾の大型定置網でホッケが漁獲されることもあったが、近年は全く見られておらず、特筆すべき情報と考えられる。 ●他地域での漁獲情報もあるが、小型魚主体で低価格のため出荷していないところが多く数量は不明。	特になし	特になし	特になし

## 機関名: 富山県農林水産総合技術センター水産研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	●マイワシとスルメイカの豊漁 マイワシ漁獲量(1～3月)8,585トン(H20～29年平均:1,092トン) スルメイカ漁獲量(1～3月)2,087トン(H20～29年平均:961トン)	特になし	特になし	特になし

## 機関名: 石川県水産総合センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	●能登半島東岸海域の定置網にて、2月9日よりマイワシ(体重80～90g主体)の大量水揚げ(県内合計100～400トン/日)が続き、2～3月累計で10,523トン(石川県主要10港)に達した。当該漁獲量は1990年代前半以來の水準である。	特になし	特になし	特になし

## 機関名: 福井県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	●マイワシの漁獲量が248トンあり、過去10年(2008～2017年)平均(5.6トン)の44倍の水揚げとなった。			

## 機関名: 京都府農林水産技術センター海洋センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	●マイワシの豊漁: 定置網で大中羽銘柄が約3,500トン(2017年約0トン、2016年約15トン)と豊漁であった。 ●クロマグロ小型魚の大量入網: 2016年級が大半を占めるクロマグロ小型魚が定置網に数十尾～数百尾/日/網の規模で入網したため、定置網漁業者はリリースや休漁等の措置を講じた。	特になし	特になし	特になし

## 機関名: 兵庫県農林水産技術センター但馬水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし

## 機関名: 鳥取県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	●2006年ぶりに沖合底びき網漁業によるホタルイカの漁場が山口県見島沖に形成された。	●3月の海洋観測にて北緯38°以北における測点(稚沖合春-2線St. 14～19)の平均水温が0m: 7.35℃, 50m: 7.12℃, 100m: 5.98℃を示した。同測点における5年平均と比べ、2.03～2.22℃低い値だった。	特になし	特になし

## 機関名: 鳥取県栽培漁業センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	特になし	●鳥取県沿岸域の海水温は、1～2月にかけ例年より約1℃低めに推移した。	特になし	特になし

## 機関名: 島根県水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 1月～3月	●浜田地区中型まき網で3月にマイワシが170トン漁獲された。100トンを超える漁獲量は10年ぶり、過去5年平均の31倍であった。	特になし	特になし	特になし

## 機関名: 山口県水産研究センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)						
平成30年 1月～3月	●長門市(湊地区)の棒受網・すくい網漁業でカタクチイワシがこの時期には珍しく豊漁(平年は6～7月がピーク)。 <table border="1" data-bbox="283 2745 483 2834"> <tr><td></td><td>漁獲量</td></tr> <tr><td>H30</td><td>685トン</td></tr> <tr><td>H29</td><td>171トン</td></tr> </table>		漁獲量	H30	685トン	H29	171トン	●長門市仙崎湾で平成29年12月26日に発生した、ギムノディニウム・カテナータムを原因とする麻痺性貝毒について、1月30日以降の検査において3週連続で国の規制値を下回り、2月13日に二枚貝等の出荷自主規制が解除となった。	特になし	特になし
	漁獲量									
H30	685トン									
H29	171トン									